

HUB-FSプログラム  
カリキュラム概要説明

2018年6月11日(月)  
HUB-FSプログラム  
第1回入試説明会



非公式アイコン：  
FSくん A&V



非公式マスコット：  
マルチンガール

1

「ファイナンス」「統計学」「データサイエンス」  
「金融工学」「デリバティブ」…  
といった知識・スキル…そして

**「MBA」** という学位は

現代のビジネスパーソンに  
本当に必要でしょうか？



2

## HUB-FSプログラムは自信をもって

「ファイナンス」「統計学」「データサイエンス」  
「金融工学」「デリバティブ」…  
といった知識・スキル…そして

「ファイナンス」「データ分析」に

強い「MBA」人材は  
これから活躍できるビジネスパーソンの  
「必要条件」とであると断言します



3

HUB-FSプログラムが自信をもって、  
「ファイナンス」「データ分析」に

強い「MBA」人材が  
これから活躍できるビジネスパーソンの  
「必要条件」とであると断言する理由を、

プログラムのカリキュラムの特徴

を通じて説明していきます。



1

# HUB-FSプログラム 基本的な情報



5

## HUB-FS の2年間



- 平日夜間+土曜日に開講！
  - ▣ 1コマ105分
    - ▣ 1限 18:20~20:05
    - ▣ 2限 20:15~22:00
    - ▣ 土曜日は科目によるので注意
  - ▣ 月曜は演習（ゼミ）
    - ▣ 1限がM1、2限がM2
- 春・夏・秋・冬の4学期制
  - ▣ 各学期は7回授業（期末試験も含む）→1単位
  - ▣ 春夏あるいは秋冬の2学期間通しの科目もあり→2単位
  - ▣ 夏学期後、冬学期後に集中講義もあり

6

## HUB-FS の2年間



- 修了するためには以下の2つが必要
  - 講義科目26単位以上、演習（ゼミ）8単位以上を含む**34単位以上**の履修が必要
  - 講義科目のうち**基礎科目は4科目（8単位）以上必要**
  - 講義科目のうち、**HUB-FSプログラム提供科目が合計で18単位以上必要**
  - （なお、演習8単位は、実質的に修論合格の必要条件）
- **修士論文の審査&最終試験に合格**

後ほどくわしく

後ほどくわしく

7

## HUB-FS の2年間



### ☆M1春夏学期

- ✓ チームビルディング
- ✓ 自己紹介・所属ゼミ決め
- ✓ 各ゼミでリサーチ・リテラシーを学ぶ
- ✓ 「基礎科目」中心に履修
- ✓ 必要に応じて「入門科目」
- ✓ 余力があれば「専門科目」



### ☆M1秋冬学期

- ✓ 各ゼミで修論テーマに沿った論文を読み、テーマとアプローチを検討
- ✓ 残った「基礎科目」を履修
- ✓ アラカルトで「専門科目」
- ✓ 必要に応じて「入門科目」



### ☆M2春夏学期

- ✓ 各ゼミで修論テーマとアプローチを固める
- ✓ データ収集と分析開始
- ✓ 実践的な「専門科目」



### ☆M2秋冬学期

- ✓ 指導教員の助言をうけ、仮説設定と分析と考察と試行錯誤のサイクル
- ✓ 修論ドラフト原稿の作成
- ✓ 修論プレ報告会
- ✓ 修論提出→口述試験
- ✓ 「専門科目」

8

# HUB-FSプログラム カリキュラム



9

## HUB-FS カリキュラムの3つの柱



### 【基礎科目群】

主に  
「ファイナンス」  
「データ分析」の  
基礎固めに特化した  
選択必修科目

一般的なMBA  
の知識・スキル  
は要らないの？



### 【専門科目群】

理論・実務の両面で  
内容・レベルともに  
バラエティに富んだ  
講義科目の提供

数学・コンピュータ  
得意じゃないけどつ  
いていける？



### 【ゼミ・修士論文】

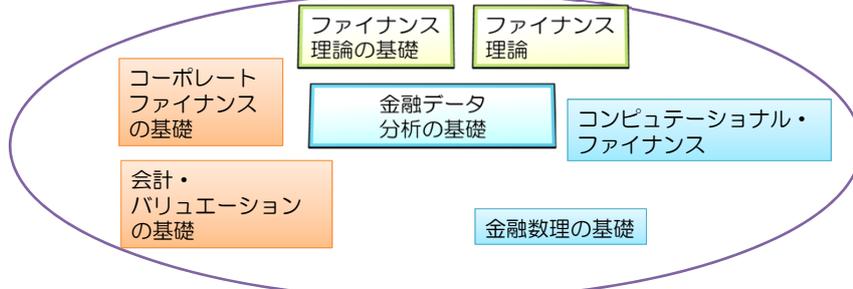
主体的に学び、  
仲間と議論して、  
「問い」を煮詰め、  
修士論文を  
完成させる場が  
「ゼミ」

研究者になるわ  
けじゃないのに、  
なぜ論文？

10

## 【基礎科目】＝ 選択必修科目

修了のためには、以下の7科目中4科目以上を履修する必要あり



「ファイナンス」「データ分析」＋「企業財務／金融工学」の基礎固めに特化しているのが HUB-FS の特色

11

なぜ「ファイナンス」に特化しているのですか？



「ファイナンス」は金融ビジネスに限らずあらゆるビジネスにおいて、その戦略の巧拙が業績を左右するほどの大きな存在ですね。しかし「ファイナンス」に関する高度な知識と実践的なスキルを合わせもつ人材が、まだ日本には足りないと考えています。

修士課程2年間という限られた時間で「ファイナンス」の知識とスキルを十分に学べる環境を提供するには「広く浅く」より「狭く深く」の選択が必要と考えました。

12

なぜ「データ分析」  
を重視するのですか？

あとでもくり返して強調しますが、  
ビジネスの現場においても、学術研究と同様に  
「問い→理論・仮説→データ→分析→考察・結論」  
という思考・調査・作業のプロセス（とサイクル）を  
具体的に実践することの重要性が増しています。

このうち「理論・仮説→データ→分析」フェーズでは  
ビジネスの現場では、選択肢が多数あるのが普通。  
何が適切な選択かを判断できることが重要です。  
**TPOに応じた最適な選択ができる人材育成には  
体系的な学習の機会が必要  
と考えました。**

13

要するに HUB-FSプログラムは  
ファイナンスも知ってる 「MBA」  
ではなく  
「ファイナンス・データ分析  
に強いMBA」   
を育成するプログラムです。

14

## 【基礎科目とキーワード】

コーポレート  
ファイナンス  
の基礎

投資の意思決定,  
資金調達の意味決定,  
ペイアウトの意思決定

ファイナンス  
理論の基礎

平均分散モデル,  
CAPM, 裁定価格理論,  
デリバティブ,  
金利の期間構造

コンピューテーショ  
ナル・ファイナンス

プログラミング,  
Black-Scholes 理論,  
モンテカルロ法

会計・  
バリュエーション  
の基礎

財務諸表分析,  
Valuation models,  
Case studies

ファイナンス  
理論

投資の最適化と資産価格,  
情報の非対称性,  
流動性

金融数理の基礎

論理と集合,  
確率論の基礎,  
数理ファイナンス入門

金融データ  
分析の基礎

統計学の基礎, 推測統計, 回帰分析

15

## 【基礎科目の担当教員】



コーポレート  
ファイナンス  
の基礎



会計・  
バリュエーション  
の基礎



ファイナンス  
理論の基礎



金融データ  
分析の基礎



コンピューテーショ  
ナル・ファイナンス



今は  
ディレクター業務に  
専念させて  
もらっています!



ファイナンス  
理論



金融数理の基礎

「金融データ分析」で  
お会いしましょう!

## 【専門科目】 2018年度開講分

豊富な授業科目群  
(カッコ内の数字は単位数)

◆は専任教員担当  
☆は実務家講師が担当

国際財務管理 (1)◆	資産価格の実証分析(2)	投資戦略論(2)◆	
コーポレート・ファイナンスにおける諸問題(1)◆	ポートフォリオ投資論(2)◆	ファイナンスにおける諸問題(1)◆	
M&A実践論 I (1)☆	金融経済学(情報とインセンティブ) (1)◆	エナジーファイナンス (1)◆	
企業価値向上論 I (1)☆	マネジリアル・エコノミクス(1)◆	マネタリー・エコノミクス(1)◆	
金融機関の戦略的経営 (1)☆	サービス経営のファイナンス(1)☆	グローバル・リーダーシップ(2)☆	ファイナンシャル・リスク・マネジメント(2)◆
企業戦略論(1)	行動経済学(1)☆	経営における職業倫理 (1)☆	金融数理(2)
アントレプレナー・ファイナンス(2)☆	データサイエンス概論 (2)◆	統計科学の数理(推定手法・モデル選択) (1)	派生証券理論(2)
業績管理会計(1)☆	ベイズ統計学(MCMC法) (1)☆	金融データ分析：演習 (2)◆	アルゴリズム取引の数理 (1)
CFOと企業価値(1)☆	経済データの時系列分析 (1)	金融データ分析(2)◆	金融リスク計量における諸問題(1)☆

【入門科目】で数学・データ分析の基礎知識をしっかりとフォロー

金融数理入門(1)	線形モデル入門(1)	金融リスク計量入門 (1)◆
時系列分析入門(1)☆	金融データーテラジー I (1)☆	金融データーテラジー II (1)☆

17

## 【専門科目】 2018年度開講分

◎時代のニーズに合わせた【寄附講義】も毎年充実

◎M&Aに関して

M&Aと事業再生の実践 I (1)  
M&Aと事業再生の実践 II (1)

◎Fintechに関して

FinTechと金融市場(2)  
FinTechとイノベーション(1)  
FinTechと資産管理(1)

◎博士課程向けの advanced な講義も履修可能

コーポレート・ファイナンスの実証分析 I (1)	資産価格理論(1)	金融市場の計量ファイナンス(1)
コーポレート・ファイナンスの実証分析 II (1)		

18

## 【ゼミ・修士論文】

修士課程なので修論を書く必要があるのは分かりますが、「MBA」という学位に対して「研究」や「論文作成」は本当に必要なのでしょうか？



はい。そう信じます。

前にも述べたようにビジネスの現場で、「**問い→理論・仮説→データ→分析→考察・結論**」というプロセスの重要性は増しています。

「ゼミ」は仲間との議論を通じて「**問い**」を煮詰め、教員の指導のもとで、**非常に高いレベルでこの一連のプロセスを経験できる貴重な機会**です。

19

## 【ゼミ・修士論文】

HUB-FSの修論は、事例研究や文献サーベイのようなものではなく、統計的なデータ分析をmustとする本格的な学術論文に近いものが求められるって本当ですか？



二者択一で答えるなら「はい」です。

「**問い→理論・仮説→データ→分析→考察・結論**」というプロセスの経験自体が修論の目的の一部ですから、必然的にアウトプットは本格的な論文に近づきます。

有意義な研究は一朝一夕にはできません。長い時間を費やした研究プロセスをまとめていくので、ごく自然に本格的な論文に近づくことが多いのです。

20

## 【ゼミ・修士論文】

働きながらの大学院生活になるわけだし、  
本当に自分に修論なんて書けるかなあ…



**やる気があれば大丈夫**

…だと思います。

もちろん、容易なことではありません。

相応の努力は必要です。

しかし、過去17年間で500名超の先輩たちが  
修了されてきたことも事実です。

修論のことで困ったら、ゼミ指導教員はもちろん  
専任教員の誰でもよいので  
遠慮なく相談してください！

21

金融戦略・経営財務プログラム

*JOIN US!*



22